

## 遺贈・相続財産の寄付のご相談をお受けいたします

『どんなことが起きても、この健康な山と海、多様性豊かな自然があれば、  
必ず乗り越えることができる』

美しい森を未来の日本へ繋げていきませんか？



ご自身の財産を遺言によって寄付する「遺贈」や、故人が遺された財産の一部のご寄付をお考えの皆様のご相談をお受けいたします。

アフンの森財団では、ご自身や故人の人生の集大成である貴重なご資産を社会貢献のために寄付をご希望される場合、その財産を有効に活用できるよう遺贈、相続財産のご寄付を受付しております。

# 遺贈のご相談

アフンの森財団の創設者である C.W.ニコルの想いです。

「私の人生はこのアフンの森づくりにあったと言っても過言ではありません。

しかしながら、この森とその思いを次世代へ繋げる事は簡単ではありません。

すでに高齢となった私一人の力で大丈夫だろうかと考えていた時、ある会員の方から『未来に向けて私ができる事を支援したいと一緒に考えて欲しい』というお申し出を頂きました。

『国破れて山河あり』という古い詞があります。どんなことが起きても、この健康な山と海、多様性豊かな自然があれば、必ず乗り越えることができる。

それがこれまで日本のたどってきた道・歴史であり、強さであり素晴らしさだと思えます。

我々が残すべきもの、守るべきもの、未来へ繋げるものは、この自然なのです。

長年美しい日本の自然を愛し、アフンの森を見守ってきて下さった皆様と共に未来へと繋がる活動ができることを心より願っております。」

2019年 C.W.ニコル

アフンの森は、気候変動の影響がますます大きくなり自然環境の重要性を再認識する必要がある今日、日本のみならず世界の人々にとって自然再生の大切さを知る重要な場所になると確信しています。

この遺贈の取り組みは、お一人お一人の美しい自然環境への想いを実現化するためのものです。皆様と共にこの森と哲学を未来の日本人へ手渡すことができたら無上のよろこびです。

一般財団法人 C.W.ニコル・アフンの森財団

理事長 森田いづみ

## アフアンの森とは

C.W.ニコルは、初めて来日した昭和30年代後半、日本は文明国でありながら豊かな生態系を維持していることに深い感銘を受けました。北には流氷、南にはサンゴ礁。世界で最も生物の多様性に富んだ日本。そして、このうえなく繊細で変化に富んだ文化と健康で勤勉な人々を育んだのは、この素晴らしい日本の自然だと納得しました。

その後、黒姫に居を構えました。

美しい山々に囲まれ、その自然の恵みをいただき、守られて幸せな日々を過ごしていました。

しかし、昭和の終わりになると、ここにも開発の波が押し寄せ、樹齢400年以上のナラ、ブナ、トチなどの大木が一瞬にして切り倒され、杉やカラマツなどの人工林に変わっていきました。一部は産業廃棄物の捨て場にもなりました。素晴らしい自然を壊して現在の都合だけにあわせたやり方へニコルは疑問をもったのです。

こうした状況を目のあたりにして、環境破壊への危機感と自然保護の必要性から、生き物のために自然を残そうと思い、荒廃した森を購入しました。荒れ放題で、地元の人が「幽霊森」と呼んでいた里山や人工林を手に入れ、間伐や笹刈をし、地域本来の植生にならった樹種を植えるところから始まりました。

試行錯誤しながらも手入れを続け、小さな森にこれまで93種の鳥類を植物は600種以上確認し、季節ごとに美しい花が咲いています。

今では絶滅が危惧される動植物65種以上が確認される森になりました。

2002年にこの森を未来に遺すため、また森の再生や生物調査の成果などを皆様に広く知っていただき、森への理解をさらに深める一助になればと、C.W.ニコル・アフアンの森財団を設立しました。

皆様からのご支援によって、森はスタート時の1万6000坪から現在は約11万坪に広がっています。



## 遺贈・ご寄付の活用

お寄せいただいたご寄付は、以下のような当森財団の活動からお選びいただき  
ご意向に沿った形で活用させていただきます。

### カタチにして後世につなぐ

- (1)生き物溢れる森を広げ未来につなげる『森の再生・トラスト基金』
- (2)ニコルの想いを未来につなげる『ニコルと森の資料館づくり』

### 未来を子供達に託すために

- (3)未来を担う子どもたちのために『子どもの心の再生』
- (4) 未来を担う子どもたちのために『環境教育・森の学校』

ご寄付いただいた方のお名前を刻んだプレートを森の中や施設内外に設  
置し遺すことができます。

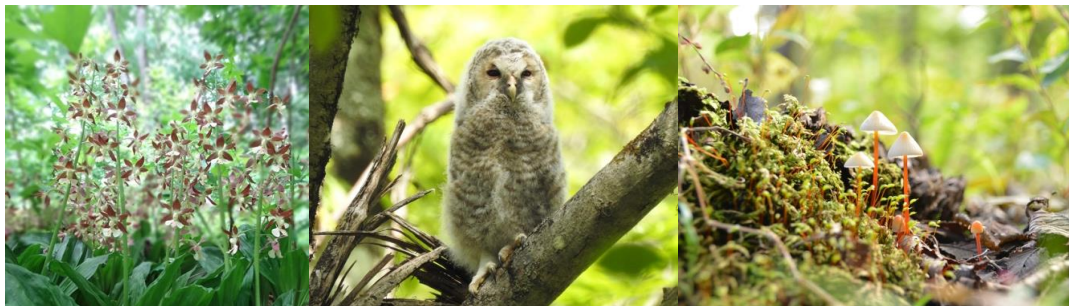
## カタチにして後世につなぐ

### (1) 生き物溢れる森を未来にひろげる『森の再生・トラスト基金』

C.W.ニコルの想いを受けて、生き物溢れるアフアンの森をもっと広げる活動をご一緒に実現していただくものです。アフアンの森に隣接する放置された森を買い取ったり、生物多様性豊かな森を再生、保全する森づくりの活動にご支援いただきます。豊かな森が広がれば、地域本来のそこに暮らしていたあらゆる命の環をつなぐことができます。特定のエリアを定め、その森にご自身や故人のお名前などをつけることができます。

#### 事業内容

- ① 放置された森の買い取りや、荒廃した森をより多くの生き物が暮らせる森に甦らせる
- ② アセスメント調査と手入れ後の調査で自然の変化を記録
- ③ 森の手入れ・間伐や笹狩り、植林等



## (2) C.W.ニコルの想いを未来につなげる『ニコルと森の資料館づくり』

C.W.ニコルの人生の軌跡とニコルが手掛けたアファンの森づくりに関する資料館を開設したいと考えております。自然を愛し人生をかけて日本の森を守ったニコルの生き様を後世に残していきます。

施設内外にご自身や故人のお名前を刻むプレートをご用意します。

### 事業内容

- ① 森の展示室 アファンの森のはじまりから100年後の未来まで  
森づくりの変遷と生物調査データを見える化しわかりやすく展示
- ② C.W.ニコル展示室 C.W.ニコルの言葉と写真でつづる人生の軌跡  
環境問題の歴史とニコルの活動  
ニコルの見た世界・五感でみる森  
作家ニコルの仕事・活動について



## 未来を子供達に託すために

### (3) 未来を担う子どもたちのために『子どもの心の再生』

子どもたちの未来のためにご支援をいただきます。

心のケアや自然体験が必要な子どもたちをアファンの森に招待します。命の環で結ばれている多様性豊かな森は人を癒し、元気を与えてくれ、人間一人ひとりがかけがえのない大切な存在であることを教えてくれます。

当財団は子供たちの事業「5センスプログラム」を長年に亘って実施しています。

#### 事業内容

- ① 児童虐待を経験した事のある養護施設の子どもたちを森に招待し、心のケアをする
- ② 身体に障害を持っている子どもたちを招待し、自然体験を提供
- ③ 災害で傷ついた心を抱えている子どもたちと大人を招待し、癒しを提供



### (4) 未来を担う子どもたちのために『環境教育・森の学校』

日本の未来を担う子供たちに、本来あるべき自然の姿を知ってもらい、その大切さを学ぶ機会をつくります。森を通して、しっかり考え行動できる子どもを育てる場を作ります。

#### 事業内容

- ① 森を活用した教育プログラムの作成
- ② 学校への出前授業など環境教育授業を提供
- ③ 森の中の教室づくり(ツリーハウスなど)やアドバイスを提供

# 遺贈のご相談

このほか、ご自身や故人のご意向に沿うようご相談、ご提案させていただきます。  
まずは、お気軽にお問合せいただけましたら幸いです。

問合先：一般財団法人 C.W.ニコル・アフアの森財団

Tel 026-254-8081 Fax 026-254-8082

E-Mail [info@afan.or.jp](mailto:info@afan.or.jp)

担当弁護士：河崎 健一郎（早稲田リーガルコモンズ法律事務所）

Tel 03-6261-2902（直通）

